



佐世保市立清水中学校
学校だより26号
令和6年 3月22日
校長 椰尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」

校訓：凛と在れ

生徒会スローガン：「果敢 挑戦 前進」

🌸 令和5年度修了にあたって 🌸

先日、晴天の下、第77回卒業証書授与式を挙行し80名の卒業生が学び舎を巣立っていきました。その式辞の中でも述べた私の思いを、令和5年度を修了するにあたって1、2年生の皆さんにも再度伝えたいと思います。

一つ目は、『**素直であれ**』ということです。素直な人は誰からも可愛がられ、大切にされます。また伸びていく人、成長し続ける人には『素直である』という共通項があります。

二つ目は、『**周りの頑張りや応援を認め、受け入れられる人になってほしい**』ということです。一言で表せば、“意気に感じる”ということでしょうか。私は常々良い集団の条件として、“意気に感じる”人の割合が多いほど、良い集団だと思っています。

これから先の清水中学校も、『**素直**』で『**意気に感じる**』ことができる生徒の集団であってほしいと願います。

いよいよ今日は修了式、令和5年度最後の日です。『**出会い**』と『**別れ**』は人を成長させます。お世話になった先生方の中にも異動があったり、この1年間机を並べ、共に学んできた今のクラスも今日で解散します。毎日を共に過ごし、お互いのことも時間の経過とともに理解し住みよい空間だったことでしょう。しかし4月からは進級とともにクラス編制が行われ新しい顔ぶれでの1年が始まります。1年前と同じように、最初は緊張し慣れない日々が続くかもしれません。そんな時だからこそ、“**人を知り**”“**自分を知ってもらう**”ことに一生懸命になってみましょう。

不安であることは仕方ない。でもそれ以上に楽しみな気持ちで4月を迎えてほしいと思います。そのためにも、明日からの春休みは、この1年をしっかりと振り返り、心と体を落ち着けてスタートダッシュが切れる準備をお願いします。キラキラと希望に満ちて進級した皆さんの頑張りを期待しています！！

保護者の皆様、お世話になりました

学校に対する皆様の支えや応援が、私たち教職員にとっては何より心強く、勇気や後押しをいただきました。通知表の2学期のご家庭からのコメントも、多くのご家庭がびっしりと書き込んであり、楽しみに読みながら最後の押印をいたしました。そんな高い関心や見守りのおかげで、一つ一つの教育活動を自信をもって推進していくことができました。心から感謝しております。

先日配付いたしました「お知らせ」のとおり9名の教職員が退職・転出いたします。在職年数は長短ございますが、それぞれが大変お世話になりました。本校での応援や支えを糧に新天地でもそれぞれが頑張る所存です。これまでのご理解、ご協力本当にありがとうございました。次年度も引き続きよろしく願いいたします。



「新たな一步は 今まで生きてきた自分のすべてと
明日への希望をこめて おもいきり踏み締めよう
そうして歩いて行こう
今日より明日
素敵な道ができるように」

作 きむ (詩人・写真家)

鮮明な画像等は、ホームページでご覧ください。